学校番号	T1202

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	国際教養	単位数	２単位	年次	３～４年次
使用教科書	特になし						
副教材等	プリント教材等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・　この授業では、世界各地の地域・言語・文化や政治・経済的特徴を学びます。あわせて、諸外国の文化的視線から日本社会の文化的な特徴やさまざまな伝統を見つめ、比較していきます。授業ではプリント教材の他に、ICT 端末機なども活用します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
国際社会の平和を実現するために必要な知識・技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
多様性を尊重する姿勢に必要な思考力・判断力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】
他国・地域の文化・伝統の基礎を学び、異文化を理解・尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	異文化理解と他者の尊重をはかるために必要な言語や文化等に関する知識・技能を身につける。	様々な国、地域の文化や社会的特徴を整理・分析し、日本社会の伝統・文化をみつめ、それらを適切に表現することができるようにする。	様々な国や地域の文化などを理解するための力や、多様性を尊重する姿勢を育みながら、国際社会の平和と発展に寄与しようとする態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	国際理解の意義	現代における、国際教養・異文化理解の意義を理解するとともに、様々な外国語を通じて各国の文化に触れる。	a:国際教養・異文化理解の重要性について現実課題の諸事象を通して理解を深めている。 b:各国の地域的特色や社会的特徴を分析し、多面的・多角的に考察している。 c:主体的に異文化理解を深めようとしている。	小テスト 考査	小テスト 授業内課題 考査	授業観察 振り返りシート

前期	東アジア・東南アジア世界について	東アジアの文化・情勢とその歴史的背景について学ぶ。 東南アジアの文化・情勢とその歴史的背景について学ぶ。 アジア諸国と日本との関係について学ぶ。 アジア世界の抱える諸課題について学び、その解決策を主体的に検討する。	a:アジア世界の政治・経済的資料から課題を見出し、その解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取っている。 b:アジア諸国とそのほかの国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、現代的な諸課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:主体的にアジア世界の諸課題について学び、その解決策を提示しようとしている。	小テスト 考査	小テスト 授業内課題 考査	授業観察 振り返りシート
後期	アフリカ世界について	アフリカ世界の文化・情勢とその歴史的背景について学ぶ。 アフリカ諸国と日本との関係を学ぶ。 アフリカ世界の抱える諸課題について学び、その解決策を主体的に検討する。	a:アフリカ世界の政治・経済的資料から課題を見出し、その解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取っている。 b:アフリカ諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、現代的な諸課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:主体的にアフリカ世界の課題について学び、その解決策を提示しようとしている。	小テスト 考査	小テスト 授業内課題 考査	授業観察 振り返りシート
	欧米世界について	欧米世界の文化・情勢とその歴史的背景について学ぶ。 欧米諸国と日本との関係を学ぶ。 欧米世界の抱える諸課題について学び、その解決策を主体的に検討する。	a:欧米世界の政治・経済的資料から課題を見出し、その解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取っている。 b:欧米諸国内部の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、EU の内包する諸課題などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:主体的に欧米世界の課題について学び、その解決策を提示しようとしている。	小テスト 考査	小テスト 授業内課題 考査	授業観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度